

■ 「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業

第1回 調査委員会

◇開催日：平成26年8月11日(月)

◇開催場所：ホテル日航金沢

◇参加者：委員 4名 事務局 7名

事務局から調査の狙いについて説明をした後、今後の調査の方向性について意見交換が行われました。



第2回 調査委員会

◇開催日：平成26年10月8日(水)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加者：委員 3名 事務局 7名

ヒアリング調査結果に基づき、人材育成等の課題について議論およびアンケート実施調査内容の精査をしました。

■ 「北陸地域における農業分野の今後の方向性」に関する調査及び研究

第2回 調査委員会

◇開催日：平成26年9月4日(木)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加者：委員6名 事務局9名

ヒアリング調査結果を踏まえて、大量生産や大規模化・分業化ビジネスモデルなどについて議論しました。

第3回 調査委員会

◇開催日：平成26年11月17日(月)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加者：委員 6名 事務局 9名

アンケート調査結果、ヒアリング調査結果を精査し、企業等の協働における北陸地域における農業分野の今後の方向性について議論しました。

■ 平成26年度第3回 「次世代ロボット研究会・北陸」

◇開催日：平成26年9月25日(木)

◇開催場所：澁谷工業(株)RMシステム森本工場

◇参加者：20名

当財団と北陸経済連合会イノベーション推進事業部と共催で今年6月に完成した澁谷工業(株)RMシステム森本工場の再生医療システムの説明をしていただき、工場内の見学をしました。そのあと、意見交換会を行いました。

■ 「北陸技術交流テクノフェア2014」に出展

◇開催日：平成26年10月16日(木)～17日(金)

◇開催場所：福井県産業会館

当財団共催の北陸技術交流テクノフェア2014に出展しました。

当財団からは、財団のPR、平成24年度採択分のR&D推進・研究助成の成果発表、北陸ライフサイエンスクラスター事業の紹介を行いました。



■ 財団の行事一覧

8月以降の行事

8月 7日(木)～8日(金)	【北陸ライフサイエンスクラスター】招へい研究者合同戦略会議	加賀市
8月11日(月)	「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業第1回 調査委員会	金沢市
8月12日(火)	【北陸ライフサイエンスクラスター】「富山・バーゼル」シンポジウム	富山市
9月 4日(木)	「北陸地域における農業分野の今後の方向性」に関する調査及び研究第2回 調査委員会	金沢市
9月17日(水)～18日(木)	【北陸ライフサイエンスクラスター】北陸・韓国経済交流会議	金沢市
9月25日(木)	平成26年度第3回次世代ロボット研究会・北陸	金沢市
10月 8日(水)	「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業第2回 調査委員会	金沢市
10月16日(木)～17日(金)	北陸技術交流テクノフェア	金沢市
10月16日(木)～17日(金)	第42回全国産業活性化センター連絡会議	広島市
10月24日(金)	中小・中堅企業新戦略展開講演会	金沢市
10月31日(金)	【北陸ライフサイエンスクラスター】国際技術動向調査ユニット会議	金沢市
11月13日(木)～14日(金)	全国地域技術センター連絡協議会	伊勢市
11月17日(月)	「北陸地域における農業分野の今後の方向性」に関する調査及び研究第3回 調査委員会	金沢市

12月以降の行事

12月 9日(火)	「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業第3回 調査委員会	金沢市
1月28日(水)	北陸産業活性化フォーラム	金沢市

※当財団では、行事のご案内を随時ホームページでご紹介しております。是非ご覧ください。

株式会社日本政策投資銀行北陸支店

創業 昭和26年旧日本開発銀行
昭和31年旧北海道開発公庫
昭和36年旧日本開発銀行
金沢支店開設

所在地 金沢市広岡三丁目1番1号
金沢パークビル11階

資本金 1兆2,069億5,300万円
(全額政府出資)

従業員 1,189名(銀行全体)

ホームページ <http://www.dbj.jp/>

事業内容
・融資、投資、コンサルティング/アドバイザー



北陸支店長
古田善也氏



企画調査課長
新井洋司氏

企業と地域の課題解決を金融力で支援している(株)日本政策投資銀行北陸支店にお話を伺います。

——一般の銀行とはどのように違うのですか

都市銀行や地方銀行と違い、預金業務を扱っておらず、法人取引のみを行っております。支店も少ないのであまり馴染みがないかもしれませんが、当社は戦後復興期に設立された日本開発銀行と北海道東北開発公庫を平成11年に統合し設立され、平成20年に株式会社化しました。

当初は国土復興・産業振興の使命を帯び、その後も国の政策やプロジェクトを金融面から支える役割を担ってきました。時代と共に重点分野の変化はありますが、従来から担ってきた長期・大口のリスクの高い投融資や金融の枠を超えたナレッジの提供で、社会・地域・お客様の課題解決を支援しております。また、東日本大震災等の危機・災害時における資金供給にも全力を挙げて取り組んでいます。

——北陸支店の役割について

当社の融資制度には、いくつか認証・独自プログラムがあります。中でも支店ごとに各地域の産業構造を踏まえて特色のある分野に融資をする「地域元気プログラム」では、北陸支店は『「心・技・体」で北陸地域を元気に』をテーマにしています。「心」はおもてなしの心でサービス業、「技」はものづくりの技で製造業、「体」はすこやかなる体でヘルスケア産業を支援しています。単に融資を行うだけでなく、企業の日頃からの活動に寄り添い、一緒になって課題解決に取り組んでいます。



「地域元気プログラム」を通じて融資した(株)加賀屋

また、当社は調査活動にも力を入れています。北陸においては『ものづくり産業における「女性力」発揮について(平成25年9月)』、『北陸新幹線金沢開業による石川県



『ものづくり産業における「女性力」発揮について』の講演会 北陸ハンドブック



内への経済波及効果(平成25年3月)』、金沢大学と共同で『加賀野菜の認知度等に関するアンケート調査(平成26年3月)』などのレポートを作成し、情報発信をしています。毎年発行している北陸ハンドブックは、北陸地域に関するデータを集めて編集、配布し皆様にご活用いただいています。企業のそばでアドバイスをすることも大事ですが、一方で、そのエリアを一步引いた目線から俯瞰し「気付き」を提供することも我々の大事な役目だと思っており、地域活性化に役立つ良質な情報発信に努めています。

——海外にも支店があるようですね

今年6月に北陸支店に着任する前は上海に5年いました。また、シンガポールに3年いたこともあります。(古田氏)

海外支店では日本企業が海外進出を、または海外企業が対日進出を考える場合に参考になるような情報を収集しています。当社の中国の事務所は今年現地法人として生まれ変わりましたのでよりご活用いただけたと思います。海外で気が付いたのは、例えば中国を見るときに大事なことは、片寄らないよう、自分の軸を持つこと、現地のビジネスにコミットする覚悟をもつことだと思えます。これからも企業の活動を金融面とアドバイザー一面から支援していきたいと思えます。